

福成会の
ちよつと素敵なお話

「入職から十年」

No. 8



私は福成会で事務職の仕事をしています。

仕事をする上で私自身の決め事として何か困ったり迷ったりと判断が必要なときは、基本理念を思い返すことを続けています。

福成会の基本理念は、

いつも笑顔でいたい

安心して暮らしたい

みんなと共にこのまちで

そんな願いを支えたい

利用者さんやその家族等、そしてこの法人の思いが詰まった法人の芯にあたる部分だと思っています。

私は仕事柄、事務職であり経理の仕事を担う部分が大きいこともあり、数字や書面と向き合う時間が労働時間の大部分を占めます。パソコンのモニターと向き合う時間がほとんどです。

当たり前のことではありますが、そんな私のような事務業務であっても一人仕事ではありません。

福成会という組織の一員であり、人間関係があってこそ成り立っています。そして私が福成会で働く上でのミッションの根幹は、基本理念をかなえ、持続させ発展させるためです。

入職当初から基本的な実務ができず変わった捉え方をして謝った方向になってしまった場合など、笑って伝達して対処してくれたスタッフには今もこれからも感

謝の気持ちを持ち続けると思います。

「給与や労務など、何を聞いても真面目に向き合って応答してくれる上司」

「実務レベルの細かい部分まで自身の業務を超えて気にかけてくれる先輩」

「総合的に強く経理を中心に深く入り組んだ部分の不明点も答えてくれる先輩」

「エクセルやパソコンに強くてちょっと早口な先輩」

「俯瞰的に見てそっと支えてくれて、ちょっと怖い先輩」

「いつ連絡しても笑って対応し、落ち込んでいる時にも元気をくれる先輩」

「帰宅前に偶然出会い業種間を超えて福成会のさまざまなことをすれ違い程度の時間の中かつ初対面で話してくれた先輩」など。

挙げれば切りがないですが、忙しい日々を過ごされる中にもそういったつながりを保ってくれたスタッフが福成会にはたくさんいます。

タイトルにある通り、私は十年間福成会に勤めています。

これまで支えてくれたスタッフのように私自身が誰かを支えられるように実務レベルの知識をつけてきました。

そういった気持ちを持ってこの十年取り組んできました。

普段の業務では辛い場面や厳しい状況もありますが、地道にコツコツと基本理念を思い返しながら進んでいきます。